# JVCKWシニアクラブ便り 2019年10月号 (No.JK02-1)

発 行:JVCKW シニアクラブ

# ■ ご挨拶:令和2年度の活動へ向けて JVCKW シニアクラブ会長 髙石 勝巳

会員の皆様、シニアクラブ活動への日頃のご理解・ご支援に感謝申し上げます。10月9日(水)に開催されました第18回定期総会におきまして会長に就任いたしました。

同封の総会議事録に述べられておりますが、シニアクラブ創設 以来、満17年と長く会長を務められた菅沼前会長のあとを継ぐこ とになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



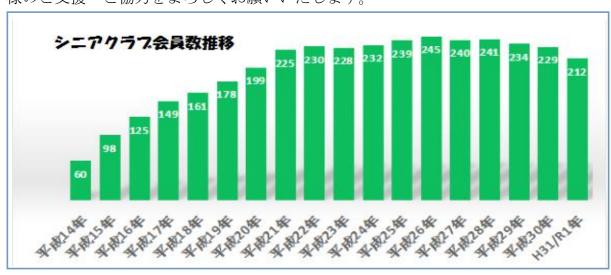
シニアクラブの活動方針は既に充分にご承知いただいていることと思いますが、人生100年時代を迎え、会社退職後の長い生活を「皆それぞれがいきいきと暮らせる」ことを目指しております。 サラリーマンの定年退職後、「自分の居場所がない人が55%」という調査結果もありますが、会社時代から退職後の生活をリニアにつなぎ、「生涯現役」の気持ちを持って健康で活発に過ごすことができることを願ってシニアクラブは活動を展開しております。

さらに昔の会社仲間だけでは無く、上部団体のJAMや日本退職者連合との連携も持って活動を推進しております。そのような場で過去に様々な経験を積んだ人たちとコミュニケーションを持つことは、自身にとってあらたな刺激となり視野を広げる貴重な機会ともなるでしょう。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

日本は高齢化社会に向かい将来的に人口減少が進む中、私達のシニアクラブ会員数 の推移を見ても下図に示す通り5年前をピークにして減少傾向にあります。

新会員を如何にして迎えるかが重要な課題ではありますが、現会員と共に展開する活動も一段と質を高めていくことが求められるのだろうと考えております。

菅沼前会長をはじめとして会員皆様と共に築き上げてきた現在のシニアクラブを これからもお互いに力を合わせて発展させていくことができますよう、引続き会員皆 様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



## ■ トピックス:地球温暖化と巨大台風

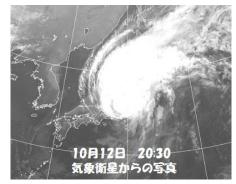
9月9日末明に15号、10月12日深夜には19号と相次いで首都圏を台風が直撃しました。千葉県内では15号の強風により、家屋の損壊や長期間停電による大きな被害を受けたばかりで、まだ復旧もままならぬときに追い討ちをかけるような19号の襲来でした。被害を受けられた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

台風19号の関東地方直撃が確実となった10月12日、NHKテレビでは定時番組を全てキャンセルして、朝から終日台風関連ニュースを放映し、その中で何度も「命を守る行動を」と、今までに聴いたことの無いような言葉で注意を喚起していました。

気象庁の予報官も「これまでに経験したことのない記録的な大雨で災害発生の恐れ」と今回の台風が及ぼす影響を示唆していました。

特に台風19号では、本州全体がすっぽりと覆われる様な巨大な雨雲で、台風の本土上陸以前から大量の雨を降らせていました。群馬県の八ツ場ダムでは3~4ヶ月かけて満杯にする予定だった試験貯水が今回の豪雨でほぼ満杯になってしまったとのことです。

台風が過ぎた後、テレビでは連日のように河川の氾濫による水害情報を伝えていました。



なんでこんなに強力な台風が東日本に頻繁に襲来するようになったのか、気候変動との因果関係を否定する立場の意見もありますが、原因はやはり温暖化にあるというべきでしょう。日本近海の海水温が上昇して、台風の勢力が衰えることなく、むしろ逆に直前まで勢力を増してきた結果と考えられます。

中心気圧900hPa、風速60m/sと予想された台風19号は、暖かい海でたっぷりと水蒸気を含んで日本上空で大量の雨を降らすことになりました。

温暖化を防止するのが当然ですが、すでに上昇した気温を下げることは人の力では無理です。現在いかに上昇を抑える行動をとるか国連でもテーマとなっています。ということは、これからも強力な台風襲来を免れることができないということです。台風銀座といわれる沖縄・九州地方の人に学び、巨大台風に備える心構えと対応が必要となるでしょう。

### ■ 事務局から

昨年の総会で、会の名称を改めましたが、新規に小旗を作成して、今回の総会でこれを紹介しました。

地の色は現在の会社 "JVCケンウッド"のブルーで、文字周辺の色はかつての会社 "日本ビクター"の朱色になっています。

JVCKWシニアクラブ
日本ビクター・JVCケンウッド
退職者の会

昨年の規約改正でシニアクラブは現在の会社の退職者も会員に迎えることにしましたが、この1年間では対象となる方の加入はありませんでした。

今回の総会では、新会員加入の取り組みを強化していくことを確認しましたが、 会員各位におかれましてもこの旗に込められた意味をご理解いただき、これからも ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。 事務局長 田代 周